

サルビア

NEWS



誰もが住みやすい町、四日市をめざして

Yokkaichi

A City for Everyone

もくじ Contents

- P1 しまいとしこうりゅう
-2 姉妹都市交流 (トリオ) ☆★
- P3 にほんご
日本語サークル★
- P4 イベント
-5
- P5 がいこくごこうざ
外国語講座
- P6 あたら さいりゅう
新しい在留 かんりせいど
管理制度
- P6 いちねん ふ かえ
一年を振り返って
- P6 センターより
★English
★やさしい日本語

～学生ボランティア活躍記～

初めての通訳体験

姉妹都市米国ロングビーチ市からの留学生相手に大奮闘！
お互いの国の学生生活を紹介しあいました。



●日頃から人に頼ってぼんやりしている私ですが、今回の通訳体験を通して責任感と緊張感の大切さを感じる事ができました。大変貴重な体験が出来たと思います。私はとても人見知りなので、不安なことたくさんありましたが、トリオの皆さんと仲良くできてとても楽しかったです。



三滝中学校2年 村山麻衣 (写真中央)

●今回の経験で、ますますロングビーチに興味を持ちました。英語でのコミュニケーションは難しかったけれど、とても勉強になりました。私にとって、とても素晴らしい経験です。

川越高校2年 岩田奈津希 (写真左)



●すごく楽しかったです！

ロングビーチの皆と会うまでは、言葉の壁ばかり気にしていたけれど、実際は簡単な英語でも分かってもらえたり、表情からでも伝わると思いました。メリンダ(女性先生)がデジカメをなくした!と言った時には、皆で祭の人混みをかき分けて探して(結局彼女のかばんのなかにあったのですが)見つかり、皆でよかった～と言い合った時は、自分たち

が日本人だとか相手がアメリカ人だとか言葉の事とかを忘れていました!! 国が違うから何かが違うとかいうことはなく、短い時間の中でロングビーチの皆から学んだことはとても大きいです! 本当に楽しくて、またこういう活動に参加したいと思いました。ボランティアに参加することができて本当に良かったです(-^O^-)

四日市南高校3年 北倉由依子 (写真左)



2011 Summer Memories

Comments from Students

My trip to Japan was the best experience I have ever had. It was so interesting, fun, and rewarding. Everyday was filled with activities to do that showed me the culture of Japan. We were treated with kindness and respect and everyone we met was wonderful and friendly. The host families were fun, the guides were amazing, and the students we met and friends we made were unforgettable. The journey to Japan was the greatest opportunity I was given. The thought of going to a foreign place without my family was at first scary. However, as I made new friends and met the best people, I realized that I had a new family, and they were the best part of the journey. **(Trio 2011, Alyssa Krug)**

Last summer I embarked on what I now consider one of the most memorable experiences of my life. During the tea ceremonies, high school visits, and intimate moments with my host families, I made invaluable and unforgettable memories. I learned much about the Japanese culture and language from my friends in Yokkaichi, and I will cherish what they have taught me as I continue my studies in Japanese. I know that Japan will be an important part of my life, and I am glad to have had my first experience in Japan with such kind and caring people as those in Yokkaichi. **(Trio 2011, Sean Rickter)**

いつまでも ともだち。。。 (5年前にトリオを受け入れた小出さん一家の交流)



こいでけ
小出家のメンバー
パパ：康生（やすなり）
ママ：奈緒子（なおこ）
むすこ：雄大（ゆうだい）
むすめ：彩奈（さら）



ホストファミリーになる きっかけは、友達からの すすめ でした。ロングビーチから とまりにきた 先生は、子供のいる人 だったので、すぐに 仲良くなりました。お互いの 子育ての 話や 食文化（食べ物 の ちがい）など、色々 知ることが できました。その後も、お互いの 家に 遊びに行くなど、交流 を 続けています。

私たちが ロングビーチに 行った時は、姉妹都市協会の人たちが パーティを 開いてくれたり、みな親切で フレンドリーで うれしかったです。トリオ事業に かかわり、国や 年齢に 関係なく 友達がふえて、とても うれしく 思います。



にほんご YIC日本語サークル

よっかいちこくさいこうりゅう
四日市国際交流センター（YIC）では、外国人が ボランティアの先生と
いっしょ にほんご べんきょう
一緒に日本語を勉強しています。

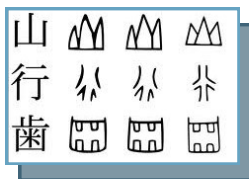
ことし べんきょう ひと
●今年 あたらしく 勉強に きた 人は、

（2011年4月～2012年2月）

1番: 中国・・・35人

2番: フィリピン・・・16人

3番: ベトナム・・・14人



せいと
★生徒にきました★

●日本語の 何が むずかしい ですか？

1番: かんじ

2番: かいわ

3番: ぎおんご （ぺこぺこ／ドキドキ）



べんきょうふうけい
いつもの勉強風景

いっ げつ なんかい べんきょう
●YICでは 一か月に何回 勉強がありますか？

やく かい やく にん
約200回（のべ 約475人）



やまじせんせい
左：山路先生

しゅっしん
右：テンさん・タイ出身
資格試験に 合格！

まいつき あたら せいと なんにん
●毎月 新しい生徒は 何人 きますか？

8～9人（多い時は 15人）

よく つかう きょうかしょ なん
●よく つかう 教科書は 何ですか？

みんなの日本語／げんき

こうかん 日記 （藤田ひとみ先生 × 車さん）

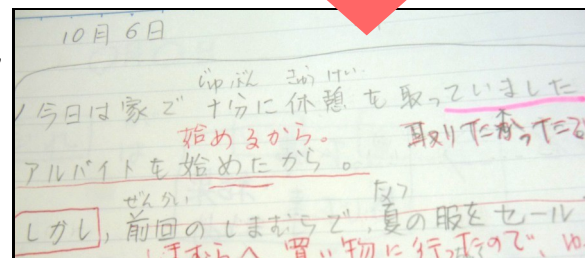
べんきょう たの べんきょう
「勉強は楽しく！」 藤田先生は、生徒の 車さんが 楽しく 勉強
をつづけられる ように、日記を 書くこと を かんがえました。

こうかん日記 を 始めてから、車さんの ことが よく 分かるよ
うに なった、と 先生は 言います。生徒が 辞書を 使い、がん
ばって 書いて くれるので、先生も がんばって 返事を 書きま
す。また、書くことで よく わかるようになり、 毎回 新しい発見
が あります。

せんせい けんけん
先生は、こどもを そだてた 経験から、あきないように、むかしの
こと いろいろな事を 日記に 書きます。そして、これからも 楽
しく 勉強したい、と 思っています。



しゃ ちゅうごくしゅっしん
左：車さん・中国出身
右：藤田先生
日記をのぞき見！



にほんご 日本語サークル その後の 交流♪



YICで 日本語を 勉強していた 生徒が 帰国することに！



おおた ふうふ かぞく
左：太田さん夫婦 右：チュンさん家族
ホーチミンにて

しゅっしん かい とく にほんご
チュンさん（ベトナム出身）がベトナムへ 帰る時に 日本語
の先生・太田基さんと 約束したことは、

- ①太田先生を 両親（お父さんとお母さん）に紹介する
- ②ベトナムに帰っても、日本の会社で 働ける ように、メール
で 日本語の 勉強をする こと でした。

おおた やくそく きょねん がつ
太田さんは、約束どおり 去年3月に、ホーチミンで チュンさ
んの両親と お姉さん家族と 会いました。そして、今でも
ベトナムにある 日本の会社や 原発など、日本の 情報
をメールで チュンさんに 送っています。また、今年も ベトナム
のチュンさんに 会いに 行きます。

平成23年度イベント

平成23年度も、たくさんの方にYICのイベントへ参加していただきました。新たな出会いと交流があったのではないのでしょうか。6つのイベントをピックアップしてご紹介します。

アフリカ写真展 2011年5月25日～6月15日

ミニプレゼン

アフリカ小話リレー 2011年5月29日

アフリカに滞在経験のあるボランティアさんたちによる写真展。アフリカで出会った人々、生活、自然、動物などを紹介しました。センターは、150枚以上14か国の写真でうめつくされました。また、小話リレーでは、ナイジェリアの出身者や、ケニアとザンビアに滞在経験のあるボランティアさんにお話を伺いました。



水谷聡子さん（ボランティア）：「私にとってのアフリカでの生活は、未知との遭遇・未知へのチャレンジでした。でも、実際彼らと触れ合っていると、基本は同じです。今私は彼らのように笑顔を忘れないように、と思っています。アフリカ写真展では、彼らとの触れ合いを思い起こさせてくれました。」



ぐるっと日本の夏めぐり 2011年8月6日

午前中はゆかた着付教室、午後は茶道、そしてそのまま大四日市まつりへ…と丸一日、日本の文化を楽しんだイベント。姉妹都市ロングビーチから来たトリオの3人も参加して、とても華やかなイベントとなりました。

うえい

宋 巍（参加者）：「今回の浴衣は、温泉ホテルの浴衣の着方とは違って、腰にバスタオルを巻いて浴衣を着ました。いろいろなプリントの浴衣がとってもきれいだから、大好きです。」

世界のレストランⅠ インドネシアの簡単家庭料理 2011年9月17日



インドネシア出身の吉田ロシさんを講師に迎え、インドネシア料理を教えてもらいました。メニューはナシゴレン、テンペゴレン、コレックピサンの3品。とてもおいしく出来ました！

吉田ロシさん（講師）：「皆さんが満足していたので、本当に嬉しいです。このイベントのおかげで、長いこと会っていない友達と会えることができ、新しい友達もできて、嬉しかったです。」



コーヒブレイク みんなの知らないハワイ 2011年10月23日



ハワイ出身のディオン・リーさんが、知る人ぞ知るハワイの秘密を紹介してくれました。日本人にはメジャーな旅行先のハワイですが、地元の人からの目線で紹介されると、また新しい魅力が見えてきたのではないのでしょうか。

豊田志奈子さん（参加者）：「両親のドラッグの常用のために子供の教育がうまく行かない事がハワイの社会問題に繋がっているのが印象的でした。日本の教育を考える機会になりました。」



ハイキング 湯の山・雲母峰山麓 東海自然歩道 2011年11月3日



秋晴れの湯の山を総勢50名でハイキング！紅葉には若干早かったものの、皆でワイワイと話しながら歩く山道はとても楽しいものでした。日本語・英語・中国語・ポルトガル語など色々な言語が飛び交い、多くの出会いを生んだイベントでした。

山下勇さん（講師）：「心配していた天候もまずまずで、予定の30名を超える50名が5か国より参加してくださり、小さな子供さんからお婆ちゃんまで元気にハイキングを楽しんでくださいました。」

ボランティア交流会 2012年1月28日



今回のボランティア交流会では、意見交換会を行う他に、「レヌカの学び」という多文化共生の教材を使用したワークショップを行いました。

加藤哲雄さん（ボランティア）：「日本語ボランティアをしても、学習者との一対一の関係だけで、ボランティア同士の横のつながりがなく、今回は、非常にいい機会と思い参加しました。各ボランティアの教え方を披露をしましたが、もっと時間をかけて皆さんの創意工夫を聞いてみたいです。」



平成23年度

外国語講座



ここ数年の間に、KPOPや韓国ドラマ等を通じて、韓国語に興味を持たれた方が多いようです。生徒さん達は、私よりはるかにKPOPやドラマ、韓流スターに詳しく、いつもいろいろ教えてくださいます。そしてとても勉強熱心。そんな彼らの熱意に応えたいという思いで、私自身授業に取り組んでいます。



後期ハングル入門講座



安 天民さん(講師)

私はYIC日本語サークルでも、タイの方に日本語を教えています。日本に来て仕事のお休みも返上し勉強する姿に、少しでもお手伝いができれば、と思います。

韓国語講座で出会った皆さん、日本語サークルで出会った方々、そしてYICで出会った人達こそが、私にとって何よりの財産です。



12月某日、笹川のブラジル料理店で行われたポルトガル語講座の忘年会に、YICスタッフが潜入。全てポルトガル語で書かれたメニューを見ながら、生徒さん



達は自分の飲み物をポルトガル語で注文する事に成功！講座の成果が表れていました。講師のアキ先生おすすめのブラジル料理を食べながら、日系

後期ポルトガル語初級Ⅰ講座 忘年会に潜入！

ブラジル人の店主一家も交えてポルトガル語やブラジルについての話題に花が咲きました。途中“Você é um gatinho!”（あなたイケメン！）と教科書には無いような表現を先生が教えてくれる場面もあり、生きたポルトガル語の実践の場となりました。



平成24年7月9日から

新しい在留管理制度がスタート！

日本に在留する外国人の在留資格とその要件や期間などは、入管法（出入国管理及び難民認定法）という法律により定められていますが、平成24年7月9日から改正入管法が施行され、新しい在留管理制度がスタートします。そこで、新しい制度の4つのポイントを以下にご紹介します。

「在留カード」の交付	新しい「在留期間」の追加	「みなし再入国許可」の導入	「外国人登録制度」の廃止
中長期在留の外国人に対し、名前等の身分事項と在留資格・期間等が記載された「在留カード」が交付されます。在留カードには、偽変造防止のICチップが搭載され、顔写真が添付されます。	主な在留資格の在留期間は最長3年でしたが、5年の在留期間が追加されます。大学等で学ぶための「留学」の在留資格も最長4年3月が追加されます。	有効な旅券及び在留カードを所持する外国人が、出国後1年以内に日本での活動継続のために再入国する場合は、原則として再入国許可を受ける必要がなくなります。	新しい制度の導入により、外国人登録カード（外国人登録証明書）が廃止されますが、一定の期間は、外国人登録カードは「在留カード」とみなされます。

このように新しい在留管理制度は、さまざまな手続きが軽減されるなど、適法に日本に在留する外国人にとっては、利便性がアップする制度です。しかし、重要な変更や新設された内容がたくさんあり、違反した場合には在留資格の取り消しや罰則規定も設けられています。また、外国人に関係する日本人にも理解していただきたい内容も含まれています。新しい在留管理制度について不明なことがありましたら、入国管理局や四日市市役所またはYICに問い合わせるなどして、正しく理解していただくようお願いします。

入国管理局のホームページ <http://www.immi-moj.go.jp/index2.html>

この1年間を振り返って

平成23年4月にグループリーダーとして着任して早1年が経ち、YICでの業務はみな新鮮でTRIOのような楽しい経験もさせてもらい、充実した1年となりました。



国際交流GL 雲井純代

当事業団の国際交流グループにはYICと笹川にある国際共生サロンがあり、どちらも日本語教室を市民ボランティアの方々に支えられて実施しています。かつて私も、日本語教室ではありませんが企業に出向いたり、教室を持って「指導する」という経験があり、その難しさは身をもって体験しました。相手が理解してくれた時の喜びは、くじけそうになった自分をまたやる気にさせ、教えるからには自分もまた勉強をしてレベルアップできるなど、自分のためにもなった時間でした。

ボランティアの方々それぞれが工夫を凝らし、生徒のために熱心なご指導本当に感謝です！YIC並びにサロンにつきまして、前向きなご意見いつでもお聞かせください。お待ちしております。

ボランティア大募集中

あなたもボランティアとして、YICの活動に参加しませんか。

- 日本語学習支援ボランティア
- イベント協力ボランティア
- 通訳・翻訳ボランティア
- ホームスティボランティア

賛助会員 随時募集中

YICの活動に賛同いただける賛助会員を随時募集しております。是非ご入会いただき、多くのご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

- 年度会員制
- 賛助会員特典有り
- 会費：個人一口 3,000円（一口以上）
団体一口10,000円（一口以上）

ご登録・ご入会・お問い合わせはYICまで。

四日市国際交流センター

Yokkaichi International Center

〒510-8601 三重県四日市市諏訪町1-5 四日市市役所北館5F

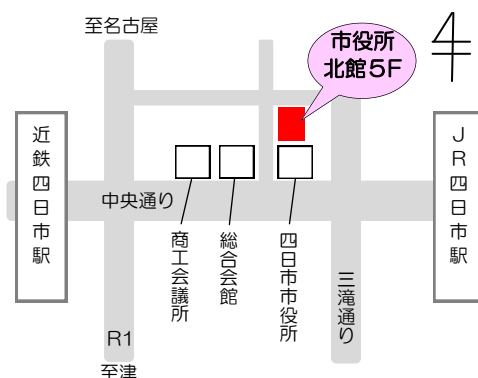
【TEL】059-353-9955、090-6572-9440（Softbank）

【FAX】059-355-5931

【E-mail】yic@yokkaichi-shinko.com

【URL】<http://www.yokkaichi-shinko.com/yic/>

【開館】9:00～17:00（火曜日、祝日、年末年始は閉館）



4